

マイナビ、「中途採用・転職活動の定点調査(2023年3月)」を発表 企業の正社員不足感は全体で58.2%と過半数を超える 求職者の33.1%が年収交渉を実施し、そのうち年収が上がったのは90.3%

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、全国の企業、個人を対象に実施した、「中途採用・転職活動の定点調査（2023年3月）」の結果を発表しました。

《TOPICS》

- ◆中途採用活動実施率は43.5%で前年同月比+1.4ptと微増。大企業の実施率は微減し、既存社員の労働や非正規社員の採用で労働力・人員を補填する割合が増加【図1、2】
- ◆企業の正社員不足感は全体で58.2%と半数を超える結果に。特に運輸・交通・物流・倉庫（70.9%）では人材不足がうかがえ、応募者集めが課題に【図3、4】
- ◆直近3カ月以内の中途入社者で、企業と年収交渉を行った人の割合は33.1%。そのうち交渉し、企業が提示していた金額よりも年収が上がったと答えた人は90.3%【図5、6、7】
- ◆年収交渉があった場合、年収を上げる余地があると回答した企業は半数超え。一方で、「選考通過が難しくなる」と答えた企業は約7割【図8、9】

【調査概要】

23年3月に中途採用活動を実施した企業は全体で43.5%と前年同月比+1.4ptの微増となった。従業員規模別に見ると、「50名以下（29.8%）」で前年同月比+2.4pt、「51～300名以下（50.8%）」では前年同月比+5.0pt、「301名以上（53.6%）」の大企業では前年同月比-1.9ptとなった。中途採用を行わなかった大企業に対してその理由を聞いたところ、「アルバイトや派遣社員など非正規社員の採用で代替したため（16.6%、前年比+4.0pt）」、「既存社員の労働力で補ったため（36.9%、前年比+2.4pt）」の項目で前年比での増加幅が大きかった。【図1、2】

正社員の過不足感について、不足していると感じている企業は58.2%と半数を超えた。業界別では「運輸・交通・物流・倉庫」が70.9%で最も不足を感じている結果となった。「運輸・交通・物流・倉庫」業界の企業に対して募集に関する悩みを聞くと、「応募が集まらない」が全体平均比+10.7ptの57.1%で最多。迫る“2024年問題[※]”への対策として、求職者への認知や関心を高める方法の模索や給与・休日水準の底上げなど、抜本的な改善が業界全体として期待される。【図3、4】

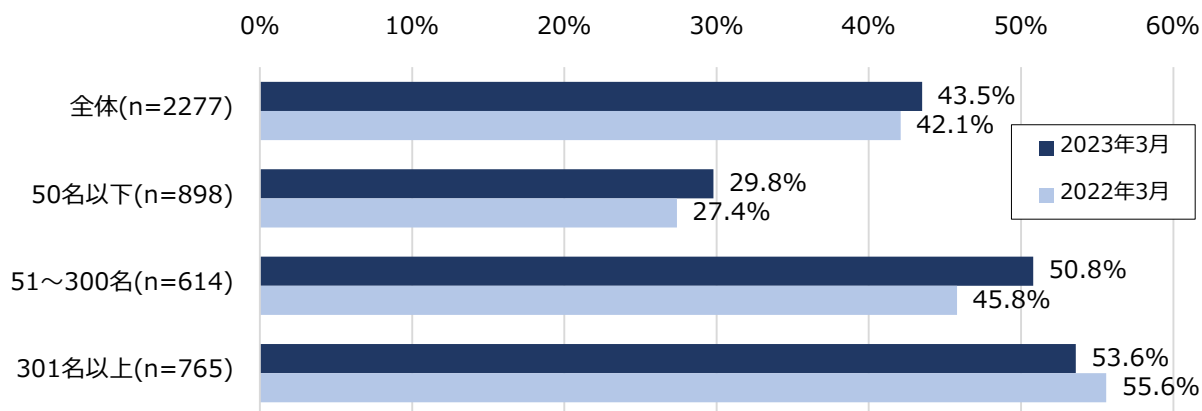
※) 2024年問題：2024年4月以降からドライバーの年間時間外労働の上限が960時間に制限され、それに伴って発生が予想されるドライバー不足の問題を指す

直近3カ月以内の中途入社者で、企業と年収の交渉を行った人は33.1%で、そのうち交渉し、企業が提示していた金額よりも年収が上がった人は90.3%だった。

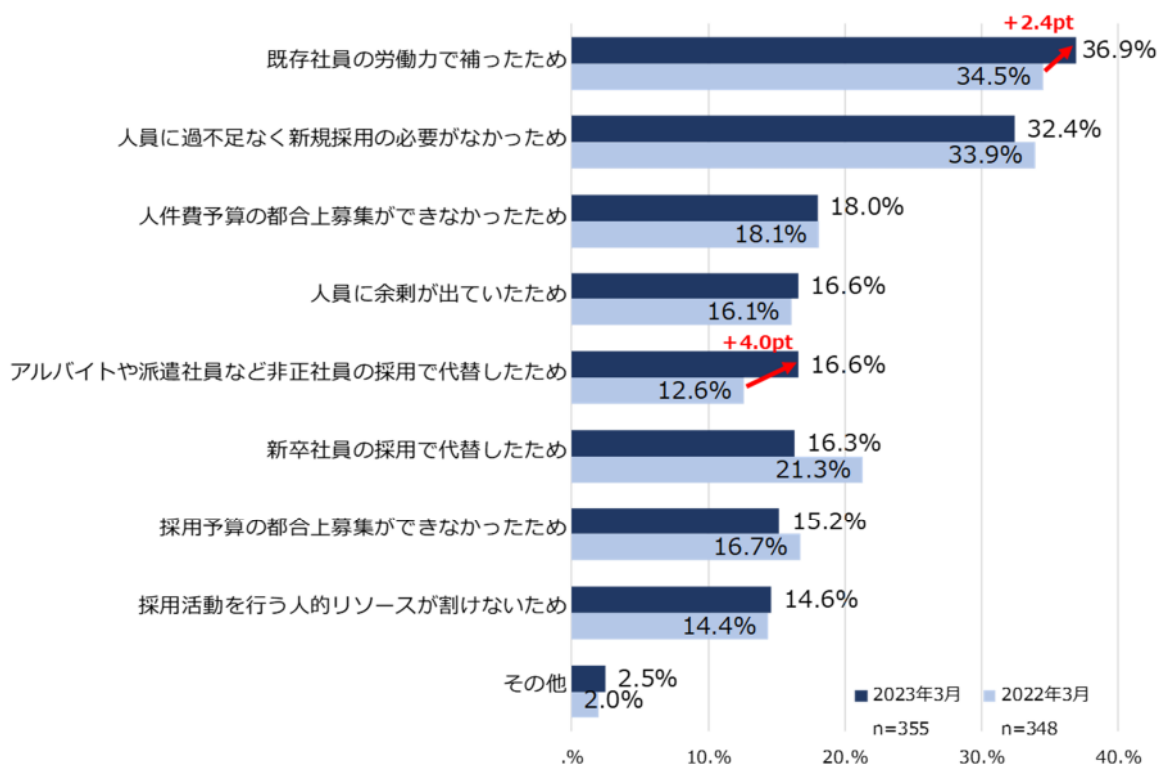
役職別で見ると、「直近3カ月以内で中途入社した部長クラス」の割合は7.5%なのに対し、「交渉した金額以上の年収額になった部長クラス」の割合は20.8%となり、部長クラスで構成比が大きく上昇した。【図5、6、7】

また、直近3カ月以内に中途入社者がいた企業のうち、年収交渉があった場合に年収を上げる余地があったと回答した企業は54.8%と半数を超えた。一方で、もしも求職者から年収交渉があった場合、選考への影響があるかを聞いたところ、「選考の通過が難しくなる」「選考の通過がやや難しくなる」と答えた割合の合計は68.8%だった。【図8、9】

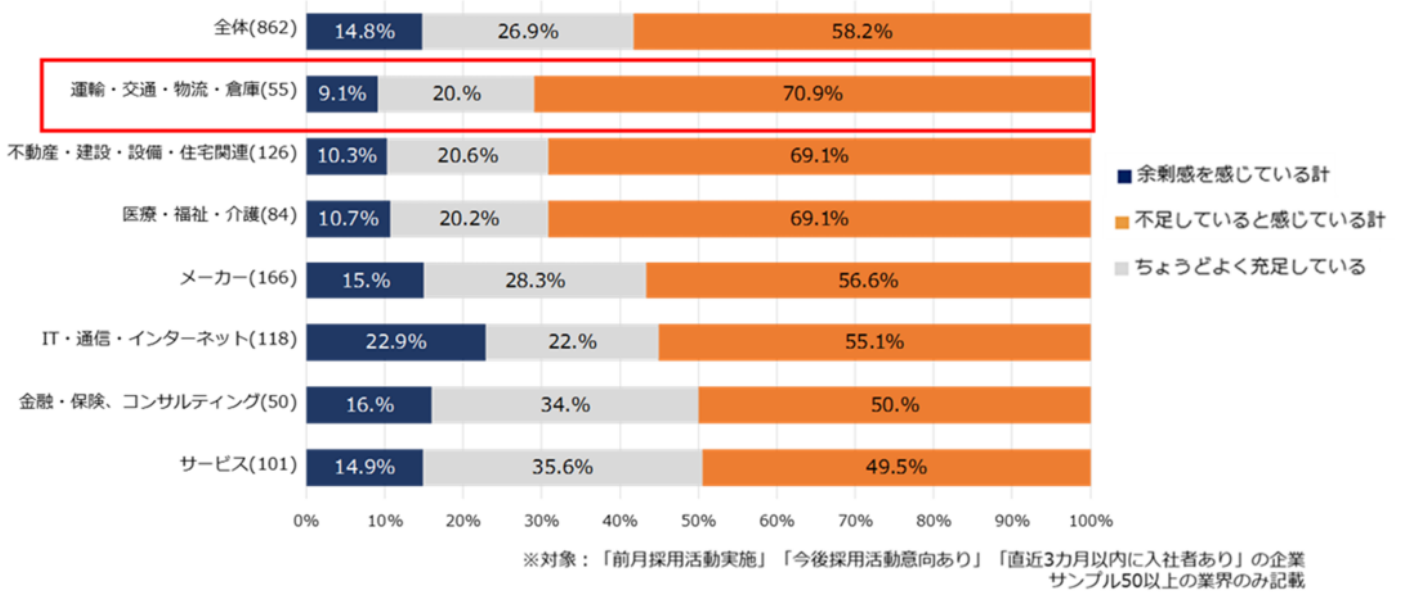
【図 1】 3月に企業が中途採用活動をした割合



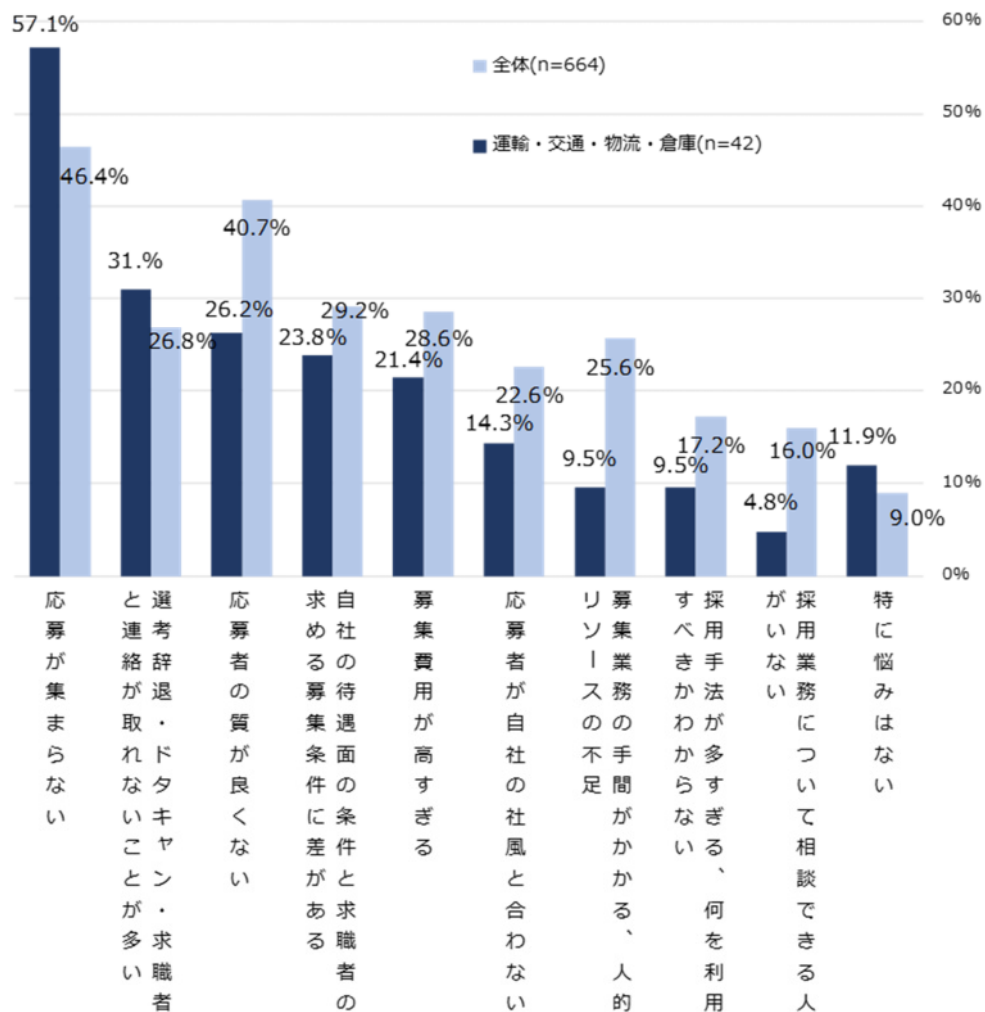
【図 2】 従業員数 301 名以上の企業の中途採用を行わなかった理由（複数回答）



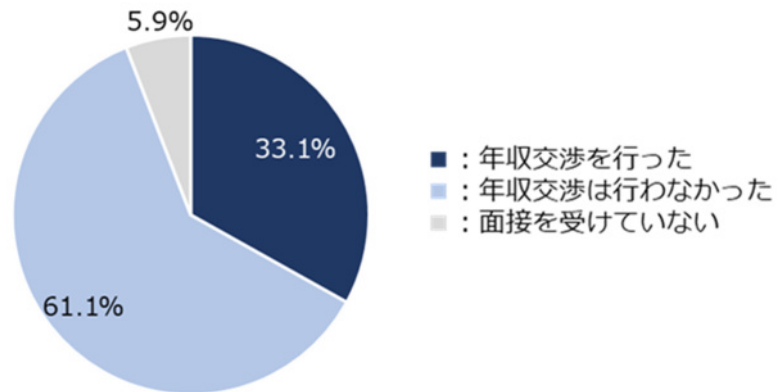
【図3】業界別の正社員全体の過不足感



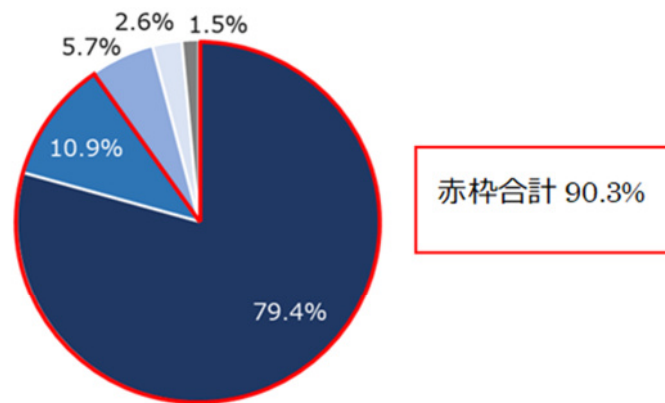
【図4】前月採用活動を実施した企業の採用に関する悩み（複数回答）



【図 5】直近3カ月中途入社者(n=320)の年収交渉実施率

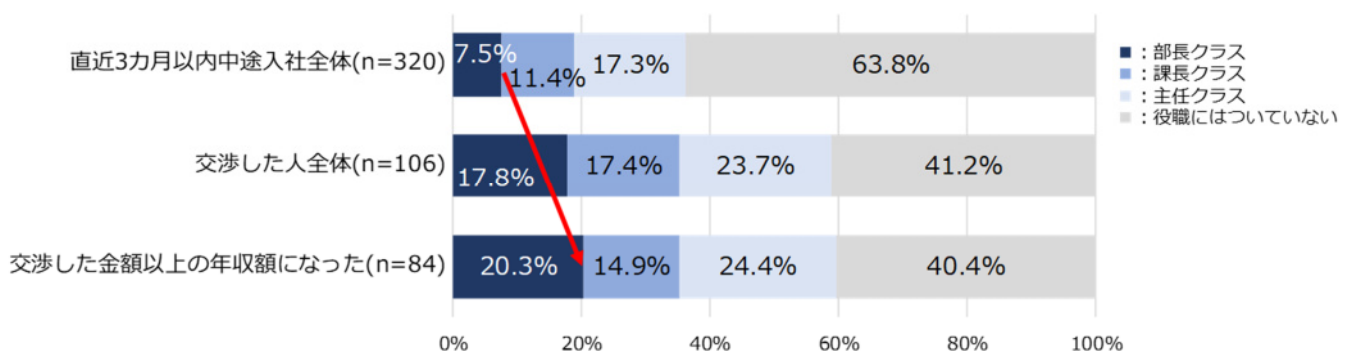


【図 6】交渉実施者(n=106)の交渉結果と転職後平均年収の増減率

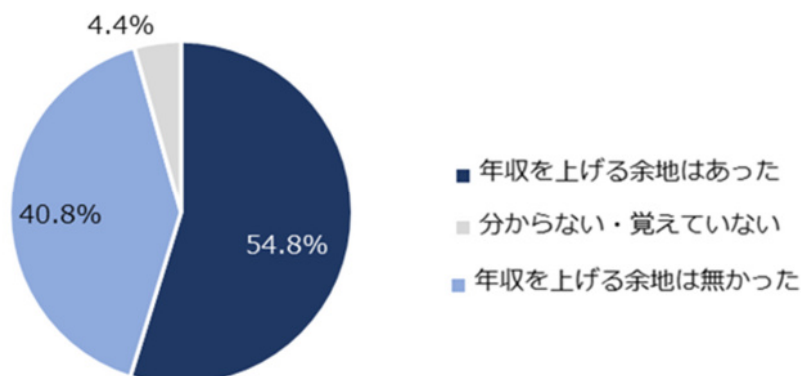


- : 交渉した金額以上の年収額になった
- : 交渉した金額よりも少ないが、当初の企業が提示した金額よりも多い年収額になった
- : 当初の企業が提示した金額と同じぐらいの年収額になった
- : 当初の企業が提示した金額よりも少ない年収額になった
- : わからない

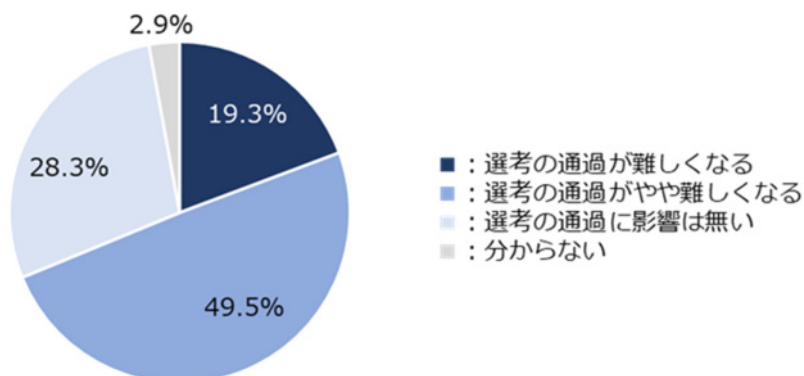
【図 7】交渉実施者の役職構成



【図 8】直近 3 カ月以内に中途入社者がいた企業(n=568)のうち
年収交渉があった場合に年収を上げる余地はあったか



【図 9】年収を上げる余地があった企業(n=311)の選考への影響



【調査概要】マイナビ「中途採用・転職活動の定点調査（2023年3月）」

○調査期間／企業：2023年4月4日（火）～7日（金） 個人：2023年4月4日（火）～7日（金）

○調査方法／WEB アンケート調査

（調査主体：株式会社マイナビ アンケートモニター提供元：外部調査会社）

○調査対象／

<企業>スクリーニング調査：従業員数3名以上の企業に所属している全国の経営者・役員または会社員で、中途採用業務を担当している人

本調査対象：上記のうち、前月採用活動を行った人、今後3カ月で採用活動を行う予定の人、直近3カ月に中途入社者がいた人

<個人>スクリーニング調査：従業員数3名以上の企業に所属している全国の20-50代の正社員

本調査：上記のうち、前月転職活動を行った人、今後3カ月で転職活動を行う予定の人、直近3カ月に中途入社者がいた人

○有効回答数／

企業…スクリーニング調査：2,277名 本調査：862名

個人…スクリーニング調査：23,472名 本調査：1,372名

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社 HP のニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認ください